

## 第7回 伏見・桂川・山崎出張所（京都府域）管内河川レンジャー運営会議 議事要旨

開催日時 : 平成 21 年 2 月 24 日（火）14:00～16:30  
場 所 : 上流域流域センター 2 階会議室  
参加人数 : 委員 19 名（新規河川レンジャーを含む）、事務局 7 名、

### 1. 報告事項

河川レンジャー検討・運営組織の改組について  
講座の仕組み・次年度カリキュラム（案）  
淀川管内河川レンジャー（試行）運営要領の改正  
平成 21 年度 河川レンジャー年間活動

### 2. 確認事項

次期河川レンジャーの再任の妥当性の確認を行い、二期目を迎えられる坂本・中川・中村・田子・仁枝レンジャーの妥当性が確認された。また、一期目を迎えられる、望月・柳沼レンジャーの妥当性の確認がなされた。

### 3. 選出・決定事項

河川レンジャー代表者会議の管内代表河川レンジャーの選出を行い仁枝レンジャーが選出された。  
平成 21 年度 河川レンジャー年間活動計画が委員の確認を経て決定された。  
平成 21 年度 新規河川レンジャー展開計画（案）が委員の検討を経て決定された。

### 4. 運営会議の概要

「第7回 伏見・桂川・山崎出張所管内河川レンジャー運営会議」について

事務局より委員の紹介及び会議の有効性について報告された。続いて配布資料の確認が行われた。

河川レンジャー検討・運営組織の改組及運営要領の改正等について

永山代表より議事次第に従い進められ、第一番目に報告として事務局から「資料 - 1 河川レンジャー検討・運営組織の改組について」を用いて、第 10 回 淀川管内河川レンジャー検討懇談会で了承が得られた内容について説明がなされた。

また、補足説明として、河川レンジャー講座について「補足資料 講座の仕組み・次年度カリキュラム（案）」にもとづき、これまでの講座よりより受講しやすい仕組みとして 2 年度に渡り受講が可能となり、2 回のチャンスが与えられ再チャレンジしやすい仕組みの変更が決定された説明がなされた。

引き続き「資料 - 2 淀川管内河川レンジャー（試行）運営要領の改正について」を用いて、改組に伴う運営要領の見なおしの内容について主要な改正点について説明があった。

その後、永山代表より上記報告について委員からの意見を求められた。

## 平成 20 年度 河川レンジャー年間活動報告

永山代表の進行のもと、第 6 回運営会議（H 2 0 年 1 0 月）で平成 2 0 年度の活動報告を 4 月より 9 月までの報告は、前回して頂いているため、今回は平成 2 0 年 1 0 月より平成 2 1 年 1 月までの活動報告をお願いしたいとの前置きをなされた。

坂本レンジャーを始め各々のレンジャーから「資料 - 3 平成 2 0 年度 河川レンジャー年間活動報告」を用いて、前回の運営会議以降に実施された活動の報告が行われた。その後、委員により意見交換が行われた。

## 河川レンジャーの再任の妥当性の確認

永山代表より、平成 2 1 年度 3 月に任期が来る河川レンジャーが引き続き、次年度以降河川レンジャーとして継続の意志があった場合事前に事務局への継続の意志の表明を行うことと運営要領に規定している。

これを受けて運営要領 1 8 条第 2 項から 4 項にかけて再任の妥当性の確認を行うこととされているとの説明があった。

永山代表より、事務局に対して、次年度以降の活動の意志の確認について報告するよう促された。事務局は、坂本・中川・望月・中村・田子・仁枝・柳沼レンジャーからの継続の意思の確認ができたことを報告した。

これにより、永山代表は、上記各レンジャーの継続の意思確認ができたとの事務局の報告によりこの場で再任の確認を行いたい旨の発議をなされ、全員が了承した。

## 河川レンジャー代表者会議に送る管内河川レンジャー代表者の選任について

永山代表は、この度の、改組に伴い新規に発足する河川レンジャー代表者会議のメンバーとして管内の代表河川レンジャーを選任するよう規定されたと説明をなされた。

また、これまでの検討懇談会などの上部機関への地域の河川レンジャーの意見が届きにくい等の理由からこの度の改正に伴い、管内の河川レンジャー代表者を選任し、代表者会議に送るものであるとの趣旨説明がなされた。

永山代表は、この規約に基づき、管内の河川レンジャーの選任について、代表者推薦といった形で仁枝河川レンジャーを推薦された。

その理由として、河川レンジャー経験が長く活動内容から判断して最も適切と判断された。

その後、委員各位より意見をお聞きになり、委員からは異議なしの声が上がり、伏見桂川・山崎管内河川レンジャー代表者として、仁枝河川レンジャーが選任された。

## 平成 21 年度 河川レンジャー年間活動計画の報告・確認・決定

永山代表の進行のもと、3 名の河川レンジャー（山村レンジャー・福井レンジャー及び田中レンジャー）から「資料 - 4 平成 2 1 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）」を用いて、平成 2 1 年度の活動計画（案）が説明された。その後、委員による確認を経て活動計画として決定された。主な意見については「3. 主な意見」を参照。

## 平成 21 年度 新規河川レンジャー展開計画（案）の検討・決定

永山代表の進行のもと、事務局から「資料 - 5 平成 2 0 年度 新規河川レンジャー展開計画（素案）」

を用いて、平成 21 年度に増員する河川レンジャーの展開計画（素案）が説明された。その後、委員による検討を経て展開計画（案）として決定された。

#### 今後のスケジュールについて

事務局より、「資料 - 6 今後のスケジュール（案）」を用いて、河川レンジャーに係わる平成 20 年度から平成 21 年度にかけての年間スケジュールの予定が説明された。

### 3. 主な意見

#### (1) 平成 20 年度 河川レンジャー年間活動報告に対する意見等

##### 1) レンジャーの方々の課題や問題点等の意見

###### 坂本レンジャー

- ・一人の協力者について参加者 5 ～ 6 人で観察を行った。
- ・観察場所は前日の出水で水位が上がり、水鳥の生活環境の最適水位とはならず鳥が餌場を替えたことから、当日は野鳥が少なかった。
- ・観察会での課題として、参加者が十分意集まるかどうか問題である。（一般募集の場合）
- ・天候に左右されることがあり不確定である点が問題である。

###### 中川レンジャー

- ・地域の大学生と連携し講座ができた。
- ・地域の小学校の学習時間が減少していることが問題である。
- ・今後は他の河川レンジャーとの連携も図っていきたい。
- ・これまでの活動領域を小学校のみではなく中学校までの活動領域を広げていきたい。
- ・NPO 法人「子供と川フォーラムよりイベントとの養成があった。レンジャーとして企画から調製・実施とすべてを行った。今後も継続していきたい。

###### 望月レンジャー

- ・クリーンアップ活動を地元のライオンズクラブなどの団体と連携して行った。
- ・閉会の挨拶の中で地元の団体よりいろいろなご意見を頂戴したことが参考となった。
- ・活動に際し、子供と大人の歩くスピードを配慮したスケジュールを考えていきたい。

###### 中村レンジャー

- ・京都嵯峨芸実大学の宇野教授と連携して川のアートを表現した活動を行った。  
（桂川のアユが鳥に食べられるため漁協はロープを張り防御したが、地元住民からは不評であったため、京都嵯峨芸実大学の宇野教授に相談し、アートのなロープで代替えてはどうかとの意見を頂戴し、京都嵯峨芸実大学の学生にお願いし、連携を図った。）
- ・ツバメの観察会を地元の小学 5 年生を対象に行ったが、素晴らしい可能性を持った子供達であり、今後ともこの年代で継続していきたい。

###### 田子レンジャー

- ・テーマは桂川の「すばらしさを知ろう。桂川をきれいにしよう」といったテーマのもとに行ってきたが、今後も継続をしていきたい。

###### 柳沼レンジャー

- ・「かわみ」については地元の人と気軽に歩いて地域の情報収集し、課題や問題点を探るための活動を行った。

- ・学校や自治会からの要望で防災についての講座を行っているが、十分な活動ができないことが課題である。

#### 仁枝レンジャー

- ・参加者の広がりが少ない。
- ・情報の発信の仕方を考え昔の「語り部」の方を中心に川との関わりを深めることにより、愛護団体の誕生が望まれる。
- ・子供に対する広報の発信の仕方について今後考えていきたい。

#### 2) 活動報告に対する意見

- ・活動に必要なフル土スコープなどの備品を増大してあげて頂きたい。(永山代表)
- ・私物に対する保険の可能性はどうか。(永山代表)
- ・人集めによるレンジャー間の相違点はなぜ生じるのか。(永山代表)
- それは活動の内容によります。(坂本レンジャー)
- ・自治体の知り得る情報を共有化することによって、レンジャー活動に連携出来る者があるのではないかと。(永山代表)  
それは上流と下流の自治体レベルの交流ができていくかどうかの問題である。イベント情報の共有化が必要である。  
そのためには、行政の壁を取り除くことが引き金となるのではないかと。(仁枝レンジャー)
- ・河川レンジャーは、自分なりのテーマを徐々に行っていくことが重要であり、あまり性急な期待を持たないことも重要である。(永山代表)
- ・河川レンジャーと連携を図っていくことに苦慮しているが、今後の課題としてどのような連携形があるのかを探していきたい。(京都市西京区杉田代理)
- ・河川の清掃活動においての成功例は河川利用者をターゲットにしたのが良かったのではないかと。今後も更に発展していくためには、学校側の児童館やPTA等との連携を図って行ってみようかと。(大山崎町井村代理)
- ・地元の希望される活動をアンケートしながら、計画を立てていってはどうか。(松岡センター河川レンジャー)
- ・河川での遊びに対する楽しみと共に、災害に対する防災活動をレンジャーがやっていることを知り、今後はできる限り情報の共有化を図りたい。(京都府乙訓土木藤林代理)
- ・今回の、京都環境フェスティバルの活動は、上流域のレンジャーの連携により実施したことを報告します。(松岡センター河川レンジャー)

#### (2) 平成21年度 河川レンジャー年間活動計画(案)に対する意見等

##### 坂本レンジャー

- ・来年度の活動は、今年度と同様の活動となる。
- ・各自治体単位で1回は活動を行いたい。
- ・貴重植生が群落している所をモニタリングしていきたい。
- ・防災施設の見学会を実施したい。(防災研・三栖閘門他)

##### 中川レンジャー

- ・20年度は京都教育大学との連携が図られたので、21年度は更に発展させ、安全・安心を重点テーマとして行っていきたい。

#### 望月レンジャー

- ・クリーンアップキャンペーンを継続していきたい。
- ・京都伏見ジュニアレンジャーと連携していく。
- ・東高瀬川の美化活動を地域の住民とともに協働した活動を考えている。

#### 中村レンジャー

- ・河川の環境を図る活動として自然観察会を継続していきたい。
- ・また、地域・人・野鳥をテーマとした桂川講座・学習会・ツバメの観察などを継続して行いたい。

#### 田子レンジャー

- ・活動テーマは昨年と同じであり、自然観察会、小学生対象の観察会と出前講座及び桂川の美化活動として、桂川クリーン大作戦、クリーンキャラバン隊による清掃活動を行いたい。
- 活動に際するトイレの問題も自治体共考えて頂きたい。(永山代表)

#### 柳沼レンジャー

- ・長岡京市において防災訓練に合わせ水害防災ミニ講座を行う。
  - ・防災教育資料の展示及び防災に関する地域講座の実施を行いたい。
  - ・21年度も「京都環境フェスティバル」でミニ講座「かわみ」を実施する。
- 水害に強い地域づくりを目指し、自治体とともに自主防災の連携を図るための良き協力者として柳沼レンジャーに協力していきたい。(高木山崎出張所長)

#### 仁枝レンジャー

- ・人づくり、まちづくり、ネットワークづくりをテーマとして活動する。
- ・水防工法から防災体験を学ぶ土嚢づくりを行う。
- ・田子レンジャーと共に21年度も継続して桂川クリーン大作戦を行う。
- ・淀地区でのマイリバーウォークを、宇治川レンジャーの中川・望月両レンジャーと共催で行いたい。また、横大路・納所地区においてもマイリバーウォークを実施したい。

今後の「京都環境フェスティバル」の取り組みについて事務局より説明をお願いしたい。

現時点では、原則継続して行きたいと考えられています。(松岡センターレンジャー)

各レンジャーには健康に無理をしないで頑張ってください。(池田委員)

#### (4)平成21年度河川レンジャー展開計画についての意見

自治体でも候補者がおられたらどしどし推薦頂きたい(高木山崎出張所長)

展開計画の中にある活動テーマの「河川の適正な利用の推進を図る活動」という意味は何かお尋ねしたい。(伏見区役所北川委員)

河川利用のマナーが主な内容と考えます。(事務局)

以 上